豊川市立一宮西部小学校長 村上 謙一

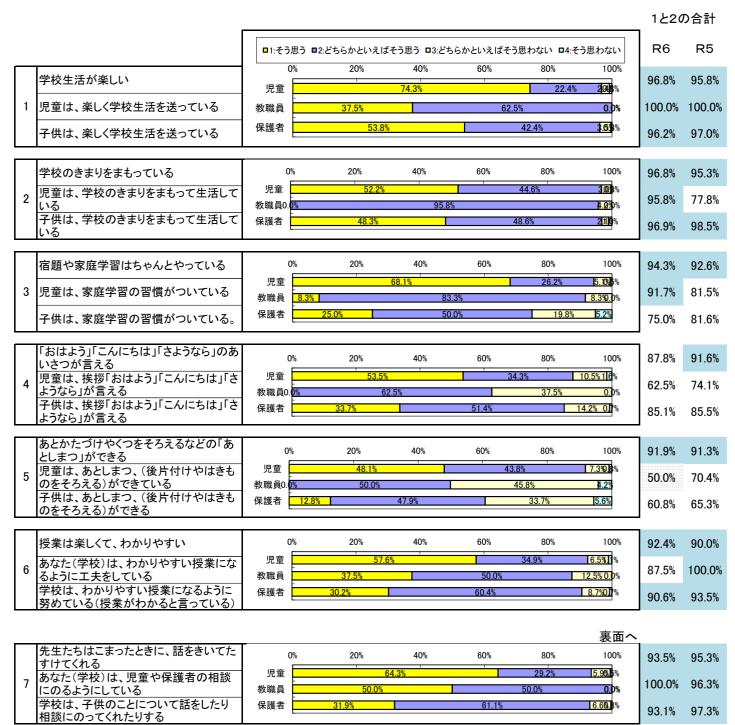
## 令和6年度 1学期学校評価アンケートの結果のお知らせ

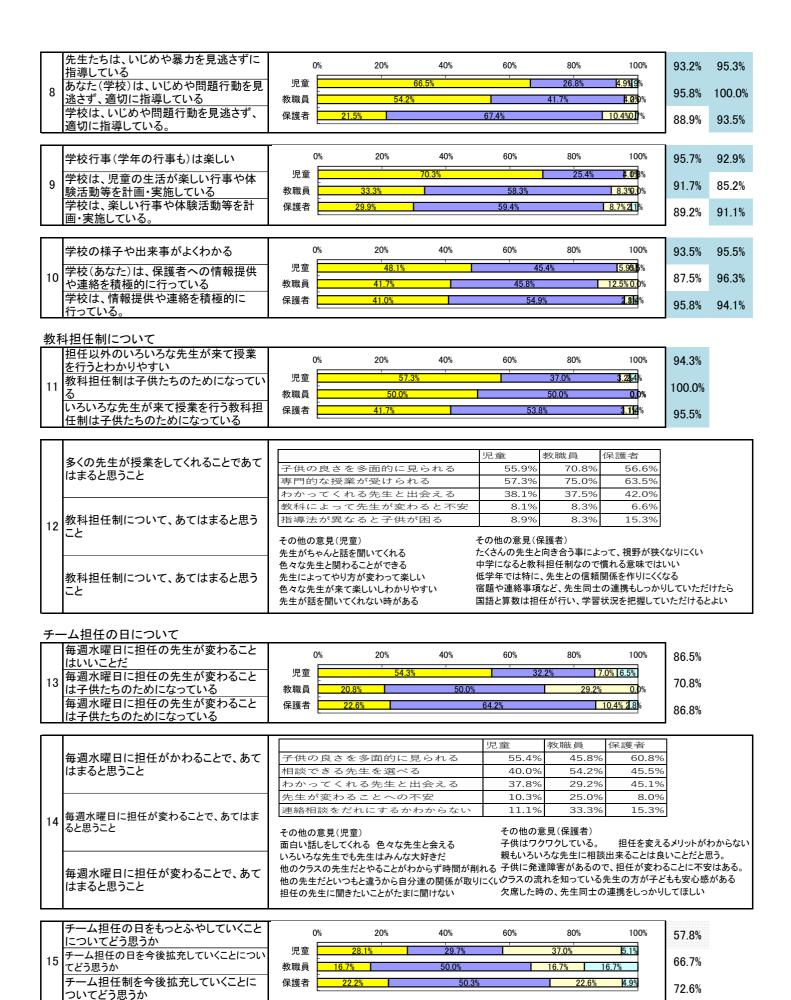
秋の訪れが感じられるようになってきました。保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げ ます。日頃は、本校の教育にご支援、ご協力をたまわり心よりお礼申し上げます。 さて、1学期末にご協力いただいた「第1回学校評価アンケート」の結果がまとまりましたので、お知らせ

いたします。学校と家庭、地域が協力し、より良い西部小学校にしていきたいと思っています。

## <グラフの見方についての基本的な考え>

〇「1:そう思う」と「2:どちらかといえばそう思う」の回答をプラス評価ととらえています。 〇「1」と「2」の合計割合が90%以上を「ほぼ満足している」、「60%」以下を改善・工夫を要すると考えていま す。





- ○「学校生活」「きまり」などから、学校生活をきちんと楽しく送れていると考えている様子がうかがえる。ただ、「あいさつ」については、3者ともにもう少しできるととらえている状況がある。委員会活動などとも連動し、改善を図っていきたい。
- ○「あとしまつ」については、がんばれているという子供たちの意識が向上している一方、保護者、教員からは物足りないというとらえがある。引き続き、使ったものの後片付けやはきものをそろえるなどの習慣が身につくように、学校と家庭が協力していくことが大切であると考える。
- ○「授業」に関する項目はおおむね満足度が高い。楽しくわかりやすい授業が展開されていると考えられる。これからも子供たちにとって「わかる授業」「楽しい授業」を心がけていきたい。
- ○「教科担任制」については3者ともおおむね好評であり、子供たちのためになっていると感じている。「多面的な見取り」「専門性を生かした授業」のよさを実感できていると考える。ただ、「不安を感じている」も一定数存在することから「だれ一人取り残さない」ことを大切にしていくことが求められる。また、学習状況の把握、連絡事項、指導法など、教員間の連携をより一層意識して取り組んでいく必要がある。 ○「チーム担任の日」については3者ともよさを感じている。「多面的な見取り」「相
- 〇「チーム担任の日」については3者ともよさを感じている割合が7割を超えている。「多面的な見取り」「相談できる先生を選べる」ことに関してよさを感じている割合が高い。しかし、児童で毎週水曜日に「先生が変わることへの不安を感じている」割合が10%いたり、「相談をだれにするかわからない」の割合が3者とも高いことを踏まえ、この不安を取り除く方法を考えていく必要がある。今後は令和7年度4月の本格実施を目指し、本校の実態に合った制度設計に取り組んでいく。